開業5周年事業「東京海上ミレアの森」展開
地球環境保護に社員・会社一体で推進

東京海上ミレア少額短期保険
湘南国際村の植林プロジェクトに協賛

東京海上ミレア少額短期保険は、4月から協賛を開始した神奈川県湘南国際村「めぐりの森」に苗木を植林するプロジェクトに「東京海上ミレアの森」の呼称を使用する覚書を神奈川県と締結した。今後、「東京海上ミレアの森」での植林活動を中心に地球環境保護の取り組みを社員と会社が一体となって推進する。神奈川県庁で行われた締結式には関栄男社長が出席し、黒岩祐治神奈川県知事らと協定書への署名や記念撮影などを行った。

セレモニーに出席した関社長（左）と黒岩知事

神奈川県と呼称使用の覚書締結

湘南国際村は、神奈川県が1985年3月に策定した「湘南国際村基本構想」に基づき、「歴史と文化の香り高い21世紀の緑陰滞在型の国際交流拠点」として94年に開村。民間・公共の研修施設が設置され、国際的視野に立脚した学術研究や人材育成、技術・文化交流などの事業が展開されている。この湘南国際村プロジェクトは、当初、計画地をA・B・C地区に区分して段階的に整備することになっていたが、B・C地区が2010年3月に民間事業者から神奈川県に無償譲渡されたため、現在は「湘南国際村めぐりの森」と称して緑の再生・保全と自然環境を生かした活用を行うエリアとして運営されている。

一方、東京海上ミレア少額短期保険は、08年の開業以来、社員研修の一環として年2回、本社のある横浜市みなとみらい地区の清掃活動や、保険証券のウェブ化・ペーパーレス化によるCO_2排出量の削減など、さまざまなCSR活動に取り組んできた。

年2回、みなとみらい地区の清掃活動を実施

また、東日本大震災以降は東京海上グループの一員として震災復興ボランティアに参加するほか、11年度には単年度黒字化を果たしたことからマッチング・ギフト制度を創設。社員から寄せられた義援金に会社が同額を上乗せし、12年度は10万円、13年度は15万円の計25万円を横浜市の児童養護施設「聖母愛児園」に寄付している。

こうした取り組みを展開する中、13年度は開業5周年を迎えたことからCSR活動を強化する方針を固め、今回の植林プロジェクトに協賛することになった。

4月8日に行われたセレモニーであいさつした黒岩知事は「湘南国際村のある三浦半島と城ヶ島は、ミシュラン発行の日本を紹介する旅行ガイド〝ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン改定第3版〟で二つ星として掲載され、豊かな自然や多彩な文化に触れることができる観光地として紹介されている。神奈川県としても三浦半島の活性化を〝めぐりの森〟を含めて強く願っている」と述べた。

また、関社長は「当社は開業5周年を迎え、今後の会社の成長と〝めぐりの森〟の成長を重ねながら末長く見守っていきたいと考えている。また、当社はこれまでさまざまなCSR活動に取り組んできたが、年々、社員の意識が向上している。2月からは保険証券をウェブ化してペーパーレス化を図っており、顧客にも環境保全の取り組みにご協力いただけるよう、積極的に推進していく」と述べ、今後の活動に意欲を示した。

同社は今後、「東京海上ミレアの森」を社会活動や営業活動、広報活動などに活用していく予定だ。